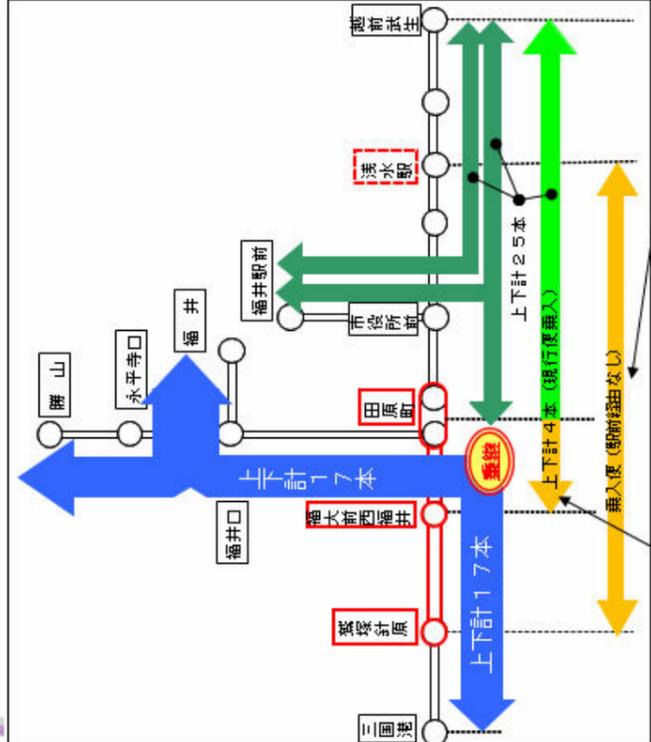


相互乗り入れの運行区間・運行パターン



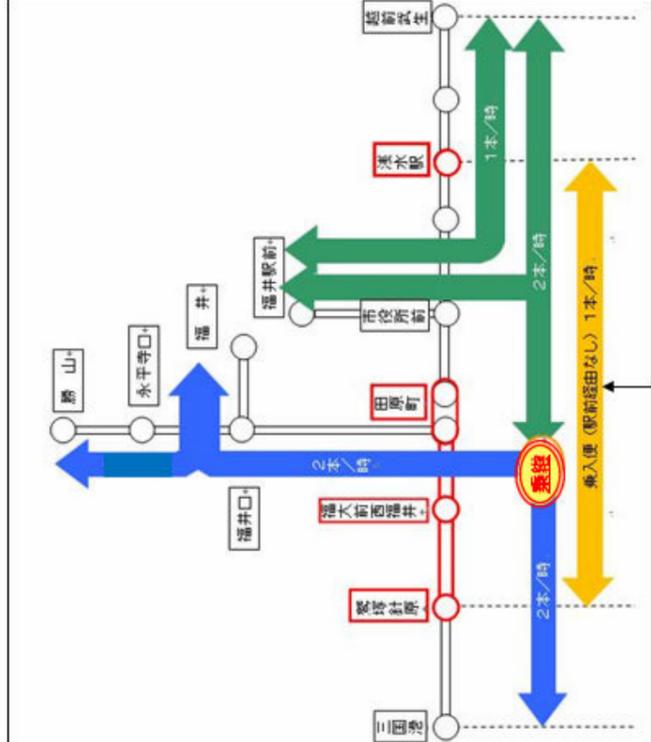
6時～9時



①  
福井鉄道が福大前西福井駅まで  
乗り入れ（上下計4本）

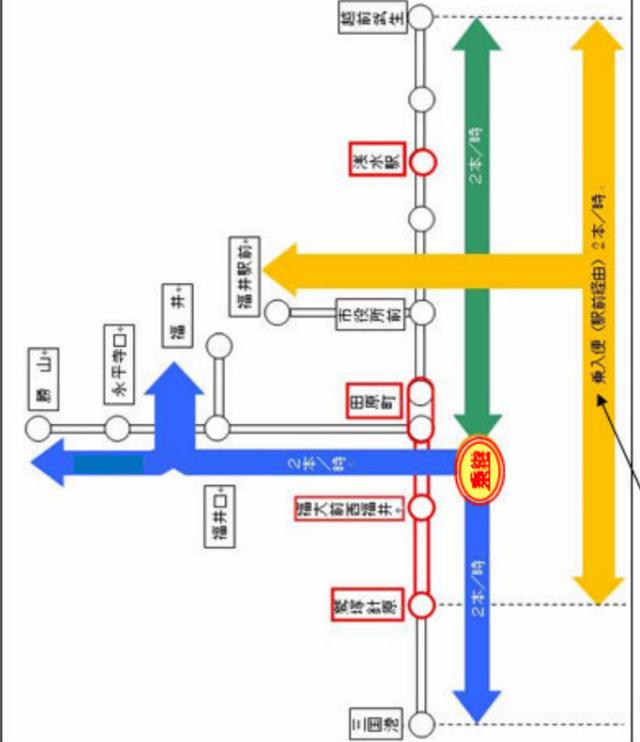
②  
乗入便：鷺塚針原駅⇔浅水駅  
（1本・駅前経由なし）  
（運行本数増を検討）

9時～15時



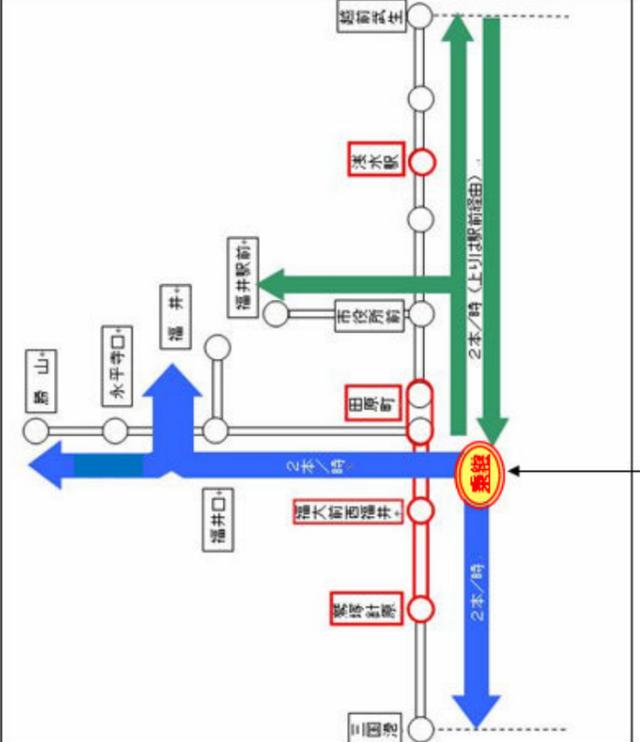
③  
乗入便：鷺塚針原⇔浅水（1本/時・駅前経由なし）

15時～19時



④  
乗入便：鷺塚針原⇔越前武生（2本/時・駅前経由）

19時以降



※ 現行ダイヤを基本に乗り継ぎダイヤを検討

【凡 例】

## 相互乗り入れ事業の事業費・スケジュール

事業主体	工事内容等		事業費	施工時期		平成 27 年度
				平成 25 年度	平成 26 年度	
福井鉄道	田原町駅	線路工事、踏切工事、 電気工事（信号機・ATS 整備等）、 ホーム・上屋工事	8.7 億円			
	浅水駅	低床ホーム整備 折り返し線と分岐器整備	1.0 億円			
えちぜん鉄道	福大前 西福井駅					相互乗り入れ開始
	日華化学前駅	低床ホーム整備				
	八ツ島駅		3.3 億円			
	新田塚駅					
	鷺塚針原駅	低床ホーム整備 折り返し線と分岐器整備				
	低床車両の導入（2 編成）		6.2 億円			
合 計			19.2 億円			

## 相互乗り入れ事業の費用負担

## 1 費用負担（案）

事業費	国	県	福井市
	19.2 億円	6.4 億円	10.1 億円
工事：13.0 億円	4.3 億円	6.0 億円	2.7 億円
車両：6.2 億円	2.1 億円	4.1 億円	—

## 2 費用負担の考え方（国庫補助を除く）

## (1) 工事費

- ・路線全体で効用を発揮する「広域的施設」の整備費用は県が負担（例：軌道整備費、信号・電気設備整備費等）
- ・整備箇所単体で効用を発揮する「属地的施設」の整備費用は福井市が負担（例：低床ホーム整備費、ホーム上屋整備費等）

## (2) 車両導入費

- ・相互乗り入れで新たに導入する低床型車両の導入費用は県が負担

※ 相互乗り入れ関連事業（田原町駅周辺整備、電停改良、駅前線延伸、短絡線整備）を含めた全体の費用負担を県：福井市=2：1としている。

## 定時性の確保

### 1 現状

- ・福武線が遅れて田原町駅でえちぜん鉄道に接続できない場合がある。
- ・遅延の原因を調査して、相互乗り入れの開始までに対策を実施する必要がある。

### 2 考えられる課題と対策（案）

	課 題	対 策	実施主体 (見込)
軌道 区 間	① 軌道内に停車した右折車が電車の進行を妨害	<ul style="list-style-type: none"> <li>・右直分離信号の導入の検討 (毛矢、東下では導入済)</li> <li>・運転者に対するマナーの徹底・向上</li> <li>・道路標示による注意喚起</li> </ul>	県警  県警、県 道路管理者 (県)
	② 新木田交差点での信号待ち ・1 サイクル待つ場合は最大で139 秒の待ち時間が発生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・信号処理の改善を検討</li> </ul>	県警
	③ 電停の改良 ・電停幅が狭いため、ラッシュ時の降車に時間を要する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電停の拡幅および再配置 〔平成 25 年度に仁愛女子高校電停を改良予定。順次、他の電停も整備〕</li> </ul>	道路管理者 (県)
	④ PTPS（電車優先信号）設置 ・路線バスの優先信号と併用している事例はなく、技術的な検討が必要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTPS 設置の検討 〔電停の再配置が前提〕</li> </ul>	県警
鉄道 区 間	⑤ 鉄道区間の定時性向上 ・鉄道区間内で遅延が生じている。 〔平成 24 年 12 月に福井鉄道、県、福井市で福武線の運行状況を調査〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全列車の運行状況を調査のうえ、遅延原因を把握して対策を検討・実施</li> </ul>	鉄道事業者 (福井鉄道)